

財産法人

日本サッカー協会寄附行為 ③

第2章 目的及び事業

(目的) この法人は、日本サッカー界を統括し、代表する団体として、サッカー競技の普及、及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 サッカー技術の研究及び指導に関すること
- 二 サッカー競技規則に関すること
- 三 審判技術の研究及び審判員の養成並びに登録に関すること
- 四 地域社会におけるサッカーグループの育成強化に関すること
- 五 サッカーの全日本選手権大会その他の競技会の開催に関すること
- 六 日本を代表するチームの役員及び選手の選定に関すること
- 七 国外へのチームの派遣に関すること
- 八 外国チームの招へい又は外国チームの来征の承認に関すること
- 九 アマチュア規定の制定並びに役員及び選手のアマチュア資格の認定に関すること
- 十 サッカー競技に関する公式記録の作成及び保存に関すること
- 十一 日本サッカー界を代表する唯一の団体として国際サッカー連盟(Fédération International de Football Association, 略称FIFA)並びにアジアサッカー連盟(Asian Football Confederation, 略称AFC)に加盟すること
- 十三 サッカーに関する指導資料等の刊行に関すること
- 十四 サッカーの施設及び用具の検定又は

これは、日本サッカー界の憲法です。何かと参考にして、協会運営がスムーズに行われますようご協力下さい。

認定に関すること
十五 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 この法人の資産は、次のとおりとする。

- 一 設立当初の財産目録に記載された財産
- 二 資産から生ずる果実
- 三 事業に伴う収入
- 四 寄附金品
- 五 加盟団体の分担金
- 六 その他の収入

(資産の種類)

第6条 この法人の資産を分けて、基本財産と運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- 一 設立当初の財産目録中、基本財産の部に記載された財産
- 二 基本財産とすることを指定して寄附された財産
- 三 理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は基本財産以外の資金とする。

(資産の管理)

第7条 この法人の資産は、会長が管理し、基本財産のうち現金は理事会の議決を経て、定期預金とする等確実な方法により会長が保管する。

(基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は譲渡し、交換し、担保に供し、又は運用財産に繰り入れてはならない。ただし、本会の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会の議決を経、かつ、文部大臣の承認を

受けてその一部に限り、これらの処分をすることができる。

(経費の支弁)

第9条 この法人の事業遂行に要する経費は運用財産をもって支弁する。(つづく)

「主審と線審は

目と目でものを言う」

レフェリーを志す人へ

ワンポイント・アドバイス——③

市協会審判委員長 藤田 利明

最近の大きな試合の審判は主審、線審2人、予備線審の計4人で行います。そこで4人のチームワークが大切になります。

特に主審と線審はお互いの協力がなければよい審判はできません。

互いに意思の疎通をはかるためできるだけ目と目を合わせましょう。

ボールがわずかにタッチラインを出た。線審が旗を上げる。主審が笛を吹く。目と目を合わせる。「ボールが出ました。スローインはこの方向です。」「わかりました。ありがとうございます。」「というふうな会話が見えるでしょう。

練習を積むと主審が見えにくいところでの接触プレーに対して主審が目で「今のプレーはどうですか。」線審から「ファウルじゃないですよ。」のように答が返ってくるでしょう。

試合終了時にお互いに相手の協力を感謝し、労をねぎらい、「ありがとうございます。」「おつかれさま。」という形で気持ちよく試合を終わりたいものです。

「審判は100%正確な判断

を要求される」

レフェリーを志す人へ

ワンポイント・アドバイス——④

審判の任務は選手が持っている力を十分に出し切れるようにすることです。

審判のミスで勝敗が決まるような事はあってはなりません。

負けたチーム関係者は泣いても泣き切れませんし、勝ったチームも後味の悪い思いをします。観衆にとってもゲームのおもしろさがふっとんでしまいます。

殊にサッカーは身体が接触する場面が多くありますので判定のむずかしい場面も出てきます。

人間のすることだからミスがあっても仕方がないと言う甘えは審判には禁物です。選手が審判を信頼してプレーに専念できなければなりません。

選手にあの審判は大丈夫かなと不安を抱かせるようではいけません。

それでは、信頼される審判になるにはどうすればよいかを次号から考えていきましょう。

神戸市社会人運営会議予定
次回 11月17日(休)

12月15日、1月19日、2月16日

3月15日、3月22日

いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ・ハイム

神戸FCジュニアA
中3以下の部 2年連続V第13回ジュニア・サッカー
サマー・フェスティバル

少年サッカーとしては、西日本最大のイベントとなったジュニア・サッカー・サマー・フェスティバルは13回目を迎え、今年も藤枝FCなど、各地から強豪を招き、盛大に行われた。同大会は社団法人神戸フットボールクラブが主催し、県・市サッカー協会、県・市教育委員会が後援して8月20日から22日まで神戸中央球技場サブほか市内4会場で小学4年生から中学3年生まで約900人が参加して5部門に分かれてそれぞれ優勝を争った。

小学生部門は静岡勢

藤枝FC (小6・5)

浜松JFC (小4)

優勝!



△中3以下の部で優勝した神戸FCジュニアA
写真提供 株式会社フォトサービス

今年の中2の部は行われず、中3以下の部に16チームが参加した。昨年各部で好成績を残した神戸FCの関係各チームは今年もよく頑張りを、中3以下の部で見事2年連続優勝を果たしたのを始め、中1以下の部で準優勝、小6以下の部では3位となった。

中3以下の部は4チームずつ4組に分かれて1次リーグを戦い、各組上位2チームが決勝トーナメントへ、下位2チームが下位トーナメントへ進出した。神戸FCジュニアAは1次リーグを無敗で決勝トーナメントに進出し、その1回戦で兵庫県トレーニングセンターと対戦、単独チームの良さが出て3-1とこれを下し、続く準決勝ではドリブルのうまい刈谷と戦った。神戸FCは先手をとられて苦戦を強いられ、最後まであきらめず、3-3の同点とした。そしてPK戦で刈谷を下し決勝に進出した。

決勝ではスピードとパワーのある上野FCと対戦、好ゲームを展開した。準決勝で勢いづいた神戸FCは、後半決定的なチャンスを見事に生かし3-1で連続優勝を決めた。

中1以下の部は、5チームによる総当たり戦で行われ、京都の名門紫光クラブが、神戸FCに最終戦で敗れたが、得失点差でこれに勝り、初優勝を飾った。神戸FCは愛知と交野に引き分けたのが響き、惜しくも準優勝にとどまった。

小6以下と小5以下の2部門には8チームが参加。4チームずつ2組に分かれて1次リーグを行い、両組上位2チームずつによる決勝トーナメントと下位2チームずつによる下位トーナメントが行われた。また、小4以下の部は4チームの総当たり戦で行われた。

小学生部門ではさすがにサッカー王国静岡

勢が強く、藤枝FCが小6以下と小5以下の2部門を、浜松JFCが小4以下をそれぞれ制覇した。近年好成績を残していた熊本は、今年熊本県選抜が南米ヘルヘン選抜し、日程が重なったため、小5の部で3位に入賞したにとどまった。

さて、この大会も13回と回を重ね、ますます充実してきた。大会のレベルアップとともにその規模も大きくなり、この期間中に神戸を訪れた人は、選手、指導者、父兄を合わせると、ざっと1,000人を越える。宿泊は須磨荘とタワーサイドホテル別館を全館貸し切りで利用し、会場は神戸中央球技場のサブ、少年、磯上、ポートアイランド、私立灘高の5会場が使用された。これを主催したのは、13年前に県下のサッカーの普及とレベルアップを目的に設立された社団法人神戸フットボールクラブで、夏休み中はこの準備と運営に大忙しであった。大会当日はのべ100人の会員の奉仕があって運営はスムーズに行われた。

第13回ジュニア・サマー・フェスティバル記録

▶中3以下の部(参加16チーム)

1次リーグ
A組①南宇和②兵庫県トレセン③松原FC④城内FC

B組①紫光FC②浜松FC③郡家FC④神戸FC・B

C組①上野FC②刈谷FC③若松FC④交野FC

D組①神戸FC・A②大河FC③枚方FC④愛知FC

〈決勝トーナメント〉
南宇和 1 2 優勝 神戸FC・A
大河FC 0 3 2位 上野FC
浜松FC 0 3 3位 刈谷'81
上野FC 3 3
紫光FC 0 3
刈谷'81 1 3
兵庫県 1 3
神戸FC 3 3

(下位トーナメントの記録は省略しました)

▶中1以下の部(参加5チーム)

①紫光FC(3勝1敗)②神戸FC(2勝2分)③交野FC(2勝1分1敗)④玉湯

1983 8・9月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-1 2
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円



小4以下の部 神戸FC対浜松JFC
写真提供 株式会社フォトサービス

SC(1勝3敗)⑤愛知FC(1分3敗)
▶小6以下の部(参加8チーム)

1次リーグ
A組①神戸FC②紫光FC③枚方FC④熊本サッカー教室

B組①藤枝FC②交野FC③上野FC④大河FC

〈決勝トーナメント〉
神戸FC 0 1 優勝 藤枝FC
交野FC 3 2 2位 交野FC
紫光FC 0 2 3位 神戸FC
藤枝FC 9 2

(下位トーナメントの記録は省略しました)

▶小5以下の部(参加8チーム)

1次リーグ
A組①藤枝FC②熊本サッカー教室③高槻FC④城内FC

B組①浜松JEC②神戸FC③若松FC④四日市少年団

〈決勝トーナメント〉
藤枝FC 4 3 優勝 藤枝FC
神戸FC 0 1 2位 浜松FC
熊本教室 0 2 3位 熊本教室
浜松FC 3 3

(下位トーナメントの記録は省略しました)

▶小4以下の部(参加4チーム)

①浜松JEC(3勝)②紫光(2勝1敗)③松原FC(1勝2敗)④神戸FC(3敗)

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

△中1以下の部 神戸FC対交野FC
写真提供 株式会社フォトサービス

通達文

昭和58年9月1日

1983年度サッカー競技規則
の改正について

財団法人日本サッカー協会審判委員会

1983年度の国際評議会は7月9日にイングランドで開催され、次のような決定がなされた。この改正は国際試合に於ては7月27日より発効されているが、日本協会主催の試合については9月1日より、その他の試合については、その主管する協会の決定する日より実施することとした。

記

●第2条 ボール(一部改正)
………ボールの空気圧は、海面の高さにおいて0.6~1.1気圧(600~1,100g/cm²)とする。………

(理由) この改正は実際使用されているボールの空気圧に合わせたものである。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理髪専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

サッカー 教え方 学び方

協力 毎日新聞社

(19)

岩谷 俊夫



対敵動作

1953年初めてドイツのオフフェンバツハ・キッカーズといふチームが日本にやってきました。ドイツらしい幾科学的な正確さをもつチームだった。どんな練習をやるのかと早速出かけた。軽いジョギングをしたあと、キパーとあと何人かは別の練習をして、6対6の試合をいきなりやり出した。みんなアウトサイド・インサイド・キックばかり。ポジションもなにもない。バックもFWもない。1人だけ下がったり、前へ出て待っていたりしない。6人ずつが、直径30センチの円の中にいつもかまっていた。一つの糸で結ばれているよう。お互いにマークしあっている。その円がひとかたまりのまま大きく移動している。それをなんと40分間も続けていた。あんまりすごいダッシュとか、ドリブルとか、激しいタックルもなく、みんな気軽に強いノーストップ・パス、コントロールされたバック・パスで次第にゴールに迫り、サイド・キックでシュートして喜んでいった。もちろんオフサイドもなかった。

少し離れてスタンドから見ていたせいか、息を切らせて短いダッシュを繰り返しているのが最初はわからなかった。2、3歩もステップを踏めば、たちどころに5〜6歩も距離が縮められた。ノーストップ・パスをあんまり正確に、しかも空いた味方につぎつぎと渡せる技術は、それがあまり気軽に行われるので軽い練習と映ったのもやむをえなかった。日本の選手をあの中に1人入れたら、パスを失敗すまい、ノーストップで味方を見つけよう、そういう努力で神経的にも参ってしまおう、ミスを見せつけられるのではない、それを40分間も続けられ

勝負はすべて一挙動

る巨大なスタミナ、われわれを舌を巻いたのである。

日本チームの合宿練習で、その昔話をしていると八重樫選手が「われわれも西ドイツの合宿で向こうの代表選手にまじって5対5を毎日のようにやらされたよ。あれには全くへばった。しかしあれは全くいい練習はありませぬ」と語った。

日本チームの合宿では「新人の代表選手は思いきって釜本や杉山や小嶋と一緒に組に入れ」といわれていた。なんでもないサイド・キックでも釜本選手と2人でかわしていたら2、3分しないうちに汗が滝のように流れるだろう。小

城選手を相手に1対1の取り合いでもしようものなら、1分もしないうちにぶっ倒れそうになるだろう。初心者同士なら、パスするボールを拾いにいく時間が多く、本当のへばり方はできない。だからいつも少し技術の上の選手と組む。対敵動作の基本は、こうしてだんだん強い相手をのばしていく。

1対1 ①10センチの円内で鬼ごっこ、ボールなし(1分)

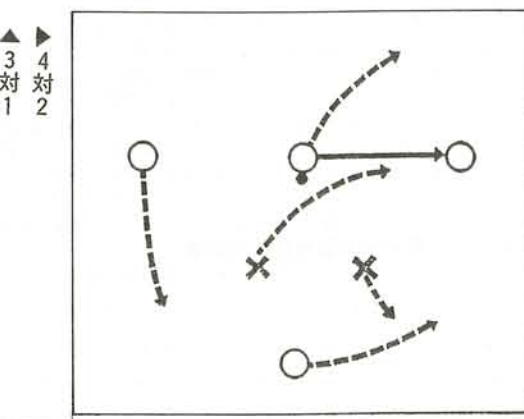
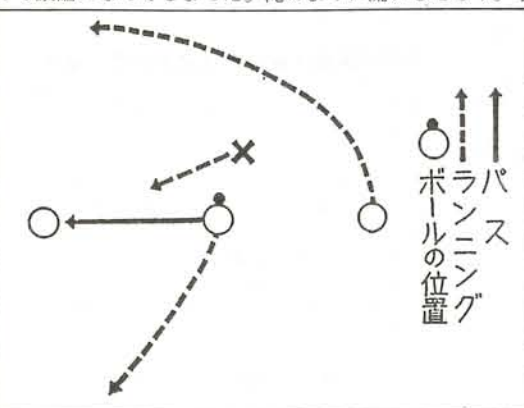
②幅3メートル、長さ10メートルの道を作り、1対1ですり抜け合い、ボールなし ③10センチの円の中で1対1でボールの奪い合い(1分) ④1人がドリブル、1人がゴール前から防ぎに出るシュートさせないようにする。

【ねらい】この4つの練習は平行して行う。円陣1対1は、相手の横や背後に抜いて出たあと、ボールをアウト・サイドで体の外に置き、足と体でとりまくのを防ぐ。半身の構えともいえる。ボールを持ち入れ、ボールを動かしながら背中から相手に妨害するプレーから入らせ、どこまで保てるかやってみよう。でも、ちょっとでも相手から離れたら、向かい合うことがボールを持っている側にとって有利なことがわかる。目は後方についていないからだ。

2対1 ①10センチの円の中で走りまわって2対1 ②10センチの円の幅の道で、2人がパスしてゴール・シュート。守る1人がパスなりシュートを防ぐ。

【ねらい】1対1でボールをすぐ相手に取られない持ち方がわかってきたから、こんどはパスを出したあと相手の逆をついてダッシュし、もう一度ももう位置に立つ。パス・アンド・位置の動き。サイド・キックでける足で走り出す。あるいは走り出した瞬間、第1歩で逆へ反転する。いずれも、もう1人の味方に、いつでも見えるような角度に走りこむ。パスを受けた味方が、取られまいと背を向けたときなどは、声をかけてこちらの位置を知らせる。

3対1 縦15センチと横10センチの4角形を書き、その中で方向にとらわれず、グルグルまわってボールを取られないようにする。最初はパスするたびに止めて行く。【ねらい】パスしたものは、受けた味方が困らないよう、その足でうしろへ下がり、いつでも楽な



パスをもらい直すため面倒を見てやるように動く。問題は第3の味方が、その瞬間にダッシュして死角に入らないように動く。極端にいえば、いつでも味方3人が一直線上に並ぶのが理想だが、そんなに大きくは動ききれない。守りの選手は、はじめはすぐに奪いに行かず、パスを受けた選手がストップしてコントロールするのを待ってタックルに行く。3人の動きに重点を置いたやり方。足技が達者になれば、3人が1人に勝つのは当然のこと。守りの1人は、ワンサイド・カットの姿勢をみせながら、3人を失敗させるよう素早い前進後退で詰めていく。

4対2 縦30センチ、横20センチ程度の4角形を描き、あまりはみ出ないようにする。並び方は図のとおり。3対1の体系の対称点に1人がいると考え、グルグルと右まわりばかりにノーストップでパスをまわし、途中で左回りにかえる。【ねらい】グルグル回しているときに、どうすれば守る2人の中間をパスで抜けるかを考えさせる。外国ではこの道を「クライネ・ガッセを通すパス」という。Kleine Gasseとは細道とでもいうドイツ語。東京オリンピックではチェコが小さなステップでいつもくろんでいた。守備者2人は、1人がワンサイド・カットでグルグル追い、あとの1人が2人の間を通されようとする位置をとる。4人の方は途中で逆回転を何回かしているうちに、早いノーストップ・パスが2つか3つ、リターン・パスの呼吸で続けば、守備者2人があわてて平行に並び、ノーストップで2人の間を通せるコツがわかる。2人の間にパスが通れば、2人は「しまった」という表情であわて動きが止まる。そこでまたさらに反対側から2人の間を通せることもわかる。相手をあわてさせるプレーのコツ、つまりリターン・パスとよばれる角度の深いパスはどんなにして行かば一目瞭然である。守備者2人が相当のつわものであれば、外の4人は、ときにボールを流したり、フェイントを使わねば、ノーストップ・パス、ワンストップ・パスはすぐ行き詰まる。小さいころからフェイントしなれていない選手は、フェイントすることが面倒だし、フェ

第23回神戸市中学校総体 本庄、山田を下し県大会へ

第23回神戸市中学校総体体育大会サッカー競技の部は、7月21日から24日まで神戸中央球技場サブほか市内4会場で、炎天下のなか熱戦が展開された。大会は、市内34校が参加して勝ち抜き戦で行われ、決勝には、準決勝で優勝候補の一角、本山を0-0の未PK戦で下した本庄と、これも強豪高倉を下した山田とが出進、本庄が7-1と一方的に下して

56年に続き優勝を果たした。

この結果、本庄は神戸市を代表して県中学校総体に出場し、決勝まで進出したが、竜野西に3-0で敗れ、準優勝となった。また、続く近畿大会では一次リーグで1勝1敗となり、



全国大会出場はならなかった。なお、新人戦優勝の太田は準々決勝で高倉にPK戦で敗れた。

本庄決勝で無念!準優勝で近畿大会出場

第35回県中学校総合体育大会サッカーの部は、7月29日と30日の両日、豊岡南中学で行われ、西播代表の龍野西中学が神戸市代表の本庄中学を3-0で破り、8年ぶり2度目の優勝で幕を閉じた。

決勝は立ち上がりから龍野西がペースをつかみ、中盤を支配して優位に進めた。前半8分名村のシュートで先制し、リズムに乗った龍野西は後半13分山本、23分小松がそれぞれ追加点を挙げ、粘る本庄を振り切った。

優勝した龍野西はDFの跡上を軸に全員が持っている個人技をフルに発揮して、のびのびプレーしたのが勝因。初優勝を目指した本

庄は決勝戦というプレッシャーにのまれたのか、日頃の力を十分に発揮できずに涙をのんだ。

第35回兵庫県中学校総合体育大会結果

辰美中(淡路)	1	5
龍野西中(西播)	5	3
安室中(中播)	1	1
朝霧中(東播)	0	1
春日中(丹有)	0	2
本庄中(神戸)	11	0
豊岡南中(但馬)	0	0
大庄北中(阪神)	2	0

龍野西、本庄ともに振わず

全国大会中学校大会への近畿ブロック代表を決める近畿中学校総合体育大会は、各府県予選を勝ち抜いた12校が参加して、8月8日、9日の両日、滋賀県西町で行われ、大阪府代表の南千里中と高槻第4中が決勝に進出、両校無得点のままタイム・アップで両校優勝となった。

兵庫県から出場した龍野西と本庄は一次リーグともに1勝1敗で2位となり、決勝トーナメント進出はならなかったが、大会規定により、県大会1位の龍野西に全国大会出場の権利が与えられた。

龍野西は一次リーグで大阪府1位の南千里と同じ組に入り苦戦が予想された。第一戦和歌山の周参見に10-0と大勝利し、勢いに乗ったが、南千里戦では炎天下の疲れも出て動きに鋭さがなく完敗した。南千里の最終バックラインは長身でせり合いに強く、龍野西の攻めをことごとくはね返した。2-0とリードされた後、縦パスからドリブルで持ち込んで

近畿中学校総合体育大会 全国へは龍野西が出場

2-1としたものの、その直後、目のさめるようなロングシュートを決められ、息の根を止められた。

一方、本庄は、一次リーグ第1戦で奈良一位の新庄に辛勝し、次いで滋賀2位の南郷と対戦した。両校共守備が甘く点の取り合いになったが結局3-2で敗れ、惜しくも決勝トーナメント進出と全国大会への権利を失った。

近畿中学校総合体育大会結果(関係分)

▶1次リーグ Aブロック			
龍野西	10	{ 5-10 5-0 }	周参見 (和歌山2位)
龍野西	1	{ 0-0 1-3 }	南千里 (大阪1位)
▶1次リーグ Cブロック			
本庄	2	{ 1-0 1-1 }	新庄 (奈良1位)
本庄	2	{ 1-2 1-1 }	南郷 (滋賀2位)

龍野西、全国大会で惜敗!

全国中学校選手権大会に出場して

竜野西中サッカー部は県、近畿大会においてすぐれた個人技を示し、その余勢をかりて

全国大会に臨んだわけですが、結果的には個人のつながり——連携プレーができなかったため惜しくも敗れてしまいました。一回戦の対戦相手は葦崎東中学校。ボールに寄る早さの分だけキープ力の差が出よう。前半6〜7割方ボールをキープされ、シュート数も龍野西中をかなりうまわりましたが、DF跡上を中心に小柄な藤井がゴール前をよく守ってくれました。後半10分ごろ味方ゴール

前の混戦から浮いたボールをボレーで決められました。その後もあきらめることなく攻勢にまわり、シュートチャンスもかなりありました。しかし、持ち味のゴール前でのヘディングシュート、ボレーシュートにさえがなく、結局1-0で敗れてしまいました。もともとドリブルからの攻撃のチームだっただけに動きの早いチームに当り、もうい面があらわれたようです。今後の課題としてさらに研究し、努力したいと思っています。



第23回神戸市中学校総合体育大会結果

西代	0	2	竜ヶ台	1	山
皇和台	1	5	本	5	本
友ヶ丘	2	0	福	3	田
王塚台	0	3	玉	0	津
高倉	0	3	有	2	馬
垂水東	0	0	桜が丘	0	島
太田	9	5	港	0	島
神大付	1	0	広	2	崎
灘	0	0	歌敷山	3	山
御影	0	1	布引	1	野
甲斐	7	6	上落合	3	野
塩屋	6	0	上落合	0	野
流川	0	0	鈴蘭台	0	川
鷹匠	5	0	湊	5	川
垂水	0	0	湊	0	野
山田	7	2	本庄	4	本
丸山	1	0		4	

第3回

神戸市中学生ジュニア大会

神戸FC 3年連続優勝

第3回神戸市中学生ジュニア大会は、市内21チームが参加して7月26日から28日まで8組に分かれて一次リーグが行われ、各組1位8チームにより8月29、30日に決勝トーナメントが行われた。その結果、神戸FCが抜群の強さを見せ3年連続3度目の優勝を飾った。神戸FCは一次リーグから準決勝まで危げなく勝ち進み、準決勝では友ヶ丘と対戦。双方ともに中学1年生としては、技術、戦術ともにハイレベルにあり、見ごたえのある良い試合であった。負けたとはいえ、友ヶ丘の今後は期待される。また、決勝戦に進出した桜が丘は創部一年目のチームであるが、CF中田を中心としてスピードある好チームであった。

この大会は中学一年生のみのもので、3年前から始められたものだが、3年目にして、ようやく好チーム同士による高いレベルでの戦いが見られるようになってきた。この大会が市内中学生のレベルアップにつながっていることはまちがいないさうだ。

(神戸市中学委員長 市川雄一)

第3回神戸市ジュニア大会結果

▶1次リーグ順位

[A組]	①神戸FC	②西落合	③山田
[B組]	①歌敷山	②六甲	③灘
[C組]	①太田	②本庄	
[D組]	①友ヶ丘	②鷹匠	③広陵
[E組]	①本山	②塩屋	
[F組]	①上野	②西代	③魚崎
[G組]	①桜が丘	②布引	
[H組]	①高倉	②須佐野	③垂水東

▶決勝トーナメント

神戸FC	4	優勝	神戸FC
歌敷山	0	2位	桜が丘
太田	0	3位	友ヶ丘
友ヶ丘	1		上野
本山	1		
上野	2		
桜が丘	3		
高倉	0		

日本サッカーに ルネサンスは起こるか? (7)

枚方FC 近江 達

エンジョイはピント外れ?

ハンガリー人は泣きながらも楽しむ、と言われている。

チェロ奏者 シュタルケル
ところ変れば何とやら、一度引退した名手
クライフ (オランダ) は再び選手に復帰した
とき理由を質問されて、「あの頃はサッカー
が楽しくなくなってしまったのでやめたのだ
が、最近またサッカーが楽しくなってきたか
ら、もう一度やることにしたのだ」と答えた
ものである。日本人が言えば、間違いない馬
鹿扱いされるだろうが、彼らは、ほかのスポ
ーツ選手でも同じように答えるから、欧米で
はそれが普通らしい。

メノッティ監督 (アルゼンチン) にいたっ
ては、ワールドユース大会でアドバイスを求
められて、「日本人はもっとサッカーをエン
ジョイすべきだ」と語ったほどである。

もちろん、それは日本の首脳部や主流派には
全然通じなかった。勝てる方法、強くなる方
法を尋ねてくるのに、まさかそんな返事が返
ってくるとは夢にも思っていなかったところへ
もって来て、日本スポーツマンの辞書にはエン
ジョイなんて言葉はないものだから、ピント
外れもいいとこだと受けとられたようである。

しかし、理解できる人は少ないだろうけれ
ども、本当は、さすがはメノッティで、欧米
サッカーとは全く違う日本サッカーの異質ぶ
りに、これまで表立っては誰も指摘しなかつ
た根本的相違点の深奥を見抜いて、「勝敗や
強弱、技術の欠点云々よりもそれ以前の本質
的なものを変えないと駄目ですよ」と教えて
くれたのである。

基本欠如も脚本どおり?

先日、神戸で大学選抜対社会人選抜、コス
モス対日本代表の二試合を見た。コスモスは
ベッケンバウアーをはじめ名手のOBを中心
に若手をまじえたチームである。だが、サボ
るようなことはなく、味方ボールになると、
原則どおり忠実にタイミング良く動いて素早
く二本以上パスコースを作り、パスサーはそ
の中から最も良いポジションにいる味方を選
んで長短さまざまなパスを送り、堅実かつ積
極的にボールを進めて攻めこむ。

ところが、現役優秀選手 (?) が集まった
日本チームの方は、そうしたプレーがほとん
どなく、サポートもフォローもない。基本を
実行する気がないのである。考えようによっ
ては、やるけど下手というのよりもっと質が
悪い。日本のトップだけにこれにはびっくり
した。

この傾向は大学選抜でいっそうひどく、最
終ラインに5、6人いて、ボールをとったら
最前線にいる4、5人にロングパスらしきも

のを送る。ショートパスは無意味なバックパ
スが多く、意欲的な中盤の動きとパスはほと
んどなかった。第一、中盤には人がいなくな
るのである。

シュート回数をできるだけ多くするために、
ボールを一気にタテに進めて一刻も早く敵ゴ
ール前に到着させる。そのために何十回ボー
ルを敵に捕られたってそれはかまわない。プ
ロセスは問題でない。とにかく勝つのだ。勝
てばいいのだ。これが昔も今も、日本サッカ
ーの典型的攻撃法なのである。

そうしない指導者や先輩に叱られるのか、
伝統的イメージがそうなのか、とにかく攻撃
の脚本みたいなものがある、選手たちは何
とかしてそのとおりにしようと懸命である。
そうしておけば、たとえ巧いかななくても、
自分の責任はすむんだ、といった気持も垣間
みられる。

だが欧米の連中は、攻撃のあらゆるじはある
にしても、それよりも、勝つために一人ひと
りがその場その場で判断、工夫して攻めよう
とする。同時に、いったんマイボールになっ
たら、ボールを敵に捕られぬよう非常に大切
にする。

この2つの根本方針のために、彼らの攻撃
は実にしつこいものになる。

相手に隙がでたら当然即座にそこを突く
が、隙がなければ執念深くボールを回す。今
行ける、と見えたのに、行きかけて途中でや
めて回す。今度は前に蹴る、と思うと、また
回す。これは欧米だけでなく共産圏のチーム
でも同じである。

そこへいくと、日本は全く短気であっさり
したものだ。何しろわが国で絶対多数を占め
ているサッカーでは、選手たちはいったんこ
うしようと思ったら必ずそうする。状況が変
っても、臨機応変、当意即妙に対応すること
はまずない。ワンパターン、ワンコース、ワ
ンタイミング、それも上にオンリーがつく。

それに、成功率に関係なくどんどんロング
パスらしきものを送る。ボールを敵に捕られ
ても平気で、失敗してもまた繰返す。それが
○×テストの○だと教え込まれているからか、
ほかの方法ができないためなのか、それとも、
欧米のようにまだ無理だと思ってボールを回
したり、ショートパスで進んだりしたら、怒
鳴られるどころか試合に出してもらえなくな
るからであろうか。

生きているカミカゼ

日本の教育は日本の軍隊と同じ。失敗を
分析して二度と同じミスをしないうにしよう、
という発想がそもそもない。

——中津 選手

かつてバイスバイラー (西独) は、「レベ
ルの高い西独チームでさえゴールまで七、八
本パスを回して行くのに、日本人はなぜそん
なに急ぐのか」と言った。

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナル
に連載されている枚方FCの指導者、近江
達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好
意で転載しております。
「日本サッカーの発展のためにはルネサ
ンスにも匹敵する人間性の解放が必要であ
る」と、近江氏はいうが……。

彼は有名なスピード狂である。その彼でさ
え理解できない拙速を尊ぶかのような日本サ
ッカーの不合理性はどこから来たのか?

ゴールへの直行が日本人の性急さから来
ていることは間違いないが、失敗に対する受け
取り方や処理法の差異もきわめて大きい。

執念深く合理的な彼らとしては、ボールを
捕られたらそのために負けることもあるのだ
し、同じ努力するなら総り多量のにしたい、
だから当然そういう攻撃方針になる。

だが、われわれは一回でも成功すれば失敗
は全部忘れるという習性がある。失敗を教訓
として次のトライに役立てることが少ない。
個人ならできて、組織の一員になると、分
つてはいるんだが、いろいろとあつてできな
いんだ、という情ないていたらくになってし
まう。

この典型が第二次大戦の日米両軍である。
大戦末期には、飛行機に爆弾を積み敵艦に
体当たり自爆して相手を沈めようと神風特攻
隊が連日発進したが、オンボロ機のためほと
んどが目的地に着くまでに撃墜されてしまっ
た。

いかに無能な司令部でも戦果は分っていた。
だがそれでも自殺攻撃が戦争終了の日まで続
行されたのは、あらゆる面で気魄誇示屋とど
も呼ぶべき高級参謀たちが日本軍の主導権を
完全に握っていて、事実や反対意見を言おう
ものなら、「気魄不足」と威丈高に罵倒して
口を封じ、無謀な作戦計画を強行したためだ
である。彼らに責められて自決した下級将校も
少なくなかったし、冷徹な智将は左遷された。
(山本七平『下級将校の見た帝国陸軍』朝
日新聞社)

一方、米軍には奇怪な精神主義など皆無で、
誰もが恐怖心をもち生命を大切に、敗北や
失敗も事実が正確に報告された。原因や情報
は冷静に分析検討され、豊富な物質と人材を
利用し適切な対策を立て改良を重ねて、優秀
な総合性と科学力によって、後期には日本軍
を完膚なきまでに蹂躪したのである。

こうした神風特攻とそれをめぐる欠陥の伝
統は今でも残っているようである。

編集部からおわび

8・9月号の発行が大変遅くなり、誠に申
し分けありません。深くおわび申し上げます。
10月号は現在作業中ですので、もうしばらく
お待ち下さい。

編集委員募集

「神戸のサッカー」は、この号で126号に
なりました。日本サッカー界で100号以上も
続いている協会機関紙は大変めずらしく、こ
れは、市協会の誇りと自負しております。現
在編集には一北理事長のほか、上野、村上と
私の4人が当っておりますが、人手不足で困
っております。どなたか、お手伝い願ひでし
ょうか。関心のある方は、協力事務局へご連
絡下さい。 ☎ 232-0753 (加藤)

兵庫県西淡FC前期一步リード

58年度兵庫県社会人リーグ戦は三菱神戸が
関西リーグより降格し、神崎高級工機が尾崎
リーグより昇格し、10チームで激戦がくりひ

ろげられている。

前期は4月3日より7月16日まで行われ、
西淡FCが失点を最少限におさえ、各チーム

58年度兵庫県リーグ前期結果

チー	西淡	三菱	市役所	三洋	新日鉄	明倫	日触	神崎	三木	双和	勝点	得失差	前位
西淡FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	+9	1
三菱神戸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	+8	2
神戸市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	+8	3
三洋電機洲本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	+2	4
新日鉄広畑	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	+5	5
明倫クラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	+3	6
日触姫路	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	+2	7
神崎高級工機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	+8	8
三木FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	+11	9
双和クラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	+12	10
得点	14	5	16	8	23	15	16	14	17	12	12	15	13
失点	14	5	16	8	23	15	16	14	17	12	12	15	13

58年度市高校秋季リーグ

赤塚山優勝……1—2部大幅に入れ替わる

昭和58年度市高校総体 (市高校秋季リーグ
戦) は8月23日より30日にかけて、市内各高
校で行われ、赤塚山が優勝した。

従来、本大会は全国選手権大会の神戸市予
選と県大会の間に割り込む形で行われてきた
が、本年度はこれを改め、夏休みの終わりに
開催されることになった。

今大会の結果を見ると、上下の入れ替えが
目立った。特に1部と2部の入れ替え戦では
六甲が星陵に引き分けてからうじて残ったほ
かは、すべて2部チームが勝利、神戸甲北、
兵庫、長田が1部に昇格し、御影工、滝川、
神戸FCの名門チームが降格という波乱の結
果となった。チームによっては、全国選手権
出場のため新チームが未完成の場合もあった
が、それを考慮に入れても、入れ替えの激し
さは、1部から3部までの各チームの実力が
接近してきたことを示すものといえよう。

結果は以下の通り。

【1部A】①北須磨・2勝1分、②神戸・2
勝1敗、③六甲・1勝1敗1分、④神戸FC
・3敗

【1部B】①赤塚山・2勝1分、②御影・2
勝1分、③御影工・1勝2敗、④滝川・3敗

【2部A】①神戸甲北・3勝、②星陵・2勝
1敗、③須磨東・1勝2敗、④鈴蘭台西・3

敗
【2部B】①長田・2勝1分、②兵庫・2勝
1敗、③東灘・1勝1敗1分、④市神戸工・
3敗

【3部A】①育英・2勝1敗、②八代・2勝
1敗、③夢野台・1勝1敗1分、④兵庫商・
1分2敗

【3部B】①灘・1勝1敗1分、②須磨友が
丘・1勝1敗1分、③舞子・1勝1敗1分、
④鈴蘭台・1勝1敗1分

【3部C】①須磨・3勝1敗、②兵庫工・3
勝1敗、③神戸西・2勝2敗、④村野工・2
勝2敗、⑤神戸北・4敗

【3部D】①葦合・2勝2分、②神戸弘陵・
2勝1敗1分、③神戸高専・2勝2敗、④私
神港・1勝2敗1分、⑤伊川谷・1勝3敗、

【3部チャレンジ戦】灘2—1葦合、須磨6
—0育英

【2・3部入れ替え戦】育英3—2須磨東、
須磨2—1鈴蘭台西、東灘7—2葦合、市神
戸工2—1灘 (育英、須磨は2部昇格)

【1・2部入れ替え戦】六甲1—1星陵、神
戸甲北3—1神戸FC、兵庫2—0御影工、
長田7—0滝川 (神戸甲北、兵庫、長田は1
部昇格)

【優勝決定戦】赤塚山2—1北須磨

第63回天皇杯全日本選手権関西大会組み合わせ

() 内は出場資格 ○内数字は関西学生1部春季 □内数字は関西リーグ以上順位、その他は府県選出。

Aブロック

田辺製薬(1)	11/12	14(万)
神戸大学(8)	11/3	12(万)
日本写真印刷(京)	10/9	14(太)
神戸学院大(兵)	10/23	14(万)
東大阪FC(大)	10/9	14(和)
新庄FC(奈)	10/9	12(和)
電々近畿(5)	11/12	12(万)
田辺FBC(13)	11/3	12(万)
京都産業大学(4)	11/3	12(万)

Bブロック

大日本電線(3)	11/5	14(万)
京都教育大学(6)	10/30	14(万)
白鷺FC(大)	10/9	12(万)
西淡FC(兵)	10/9	20(和)
蹴友クラブ(和)	10/9	10(太)
北摂けまり団(大)	10/23	14(万)
三養京都(7)	11/20	12(神)
大阪体育大学(2)	11/20	12(神)

Cブロック

松下電器(2)	11/6	14(万)
天理大学(7)	10/30	14(万)
紫光教員(京)	10/9	10(和)
松下エアコン(滋)	10/9	12(太)
大阪産業大学(大)	10/10	10/23
三養神戸(兵)	10/10	12(万)
大阪教員(6)	11/6	12(万)
紫光クラブ(10)	10/30	14(万)
同志社大学(3)	10/30	14(万)

Dブロック

京都府警(4)	10/23	14(万)
大阪ガス(9)	11/6	10(万)
立命館大学(5)	11/3	14(万)
伏見蹴友会(京)	10/9	10(太)
松下電工歩一(大)	10/9	10(太)
大阪スポマン(大)	10/10	10/30
関西学院大学(兵)	10/10	14(神)
兵庫教員団(8)	11/20	14(神)
大阪商業大学(1)	11/20	14(神)

より勝星をおさめて前期首位に立った。三菱
神戸は立ち上がりつまづいたが、徐々に地力
を発揮して2位につけた。

後期は9月4日から始まり、前期7—10位
の日触姫路、神崎高級工機、三木FC、双和
クラブの各チームが勝星をおさめ県リーグは
混戦模様となってきた。11月初旬まで行われ
る後期戦で覇者が決まるが、三菱神戸、前年
度優勝の三洋洲本、前期首位の西淡FCとダ
ークホース双和クラブ、神崎工機との戦いぶ
りが期待される。戦力的にずば抜けたチーム
がないだけに今後の各チームのがん張りよう
で優勝の行方が決まりそうだ。

全国高校総合体育大会

伊丹北 緒戦で敗退

58年度全国高校総合体育大会に兵庫県を代
表して出場した伊丹北高校は、8月2日、名
古屋瑞穂運動公園ラグビー場で1回戦を佐賀
学園と対戦し、延長後半に失点し、3—2で
惜しくも敗退した。

▶1回戦 (8月2日、瑞穂運動公園)

伊丹北	2	1—2 1—0 0—1 0—1	3	佐賀学園
-----	---	--------------------------	---	------

【評】両チームとも猛暑の中でもよく動き、
好ゲームを展開した。佐賀学園は前半早目に
パスを回し、鋭い動きで10分、22分に得点し、
2点を先行、一方的なゲームになるかと思わ
れた。しかし、伊丹北は開き直ったプレーで
反撃に出た。長めのパスで佐賀学園DFの裏
をつき、前半終了間際の32分に菅掛のヘディ
ングシュートで2—1とし、後半13分にはF
Kから中嶋が同点とし、試合を振り出しにも
どした。この間の伊丹北の頑張りにはすばら
しいものがあつた。しかし、抜かれた後のタ
ーンが遅いのと、スタミナの消耗はいかんと
もし難かった。佐賀学園は個人技も高く、連
係プレーにも優れたものを見せていたが、延
長後半8分にもやっと3点目を上げ、伊丹北を
振り切った。(大会公式記録戦評より)

東京都立石神井高校 上野二三一

国体少年の部 近畿予選で不覚

第38回国民体育大会近畿地区予選は、8月
20日から22日まで奈良県で行われた。昨年優
勝した兵庫県少年選抜チームは、今年も大い
に期待されたが、結果的には惨敗に終り、来
年に捲土重来 (けんどちようらい) を期する
ことになった。

第38回国民体育大会近畿地区予選結果

〈少年の部〉 (関係分)

【1次リーグ】B組 (8月20日奈良教育大)

兵庫 0—2 大阪

兵庫 0—1 奈良

(この結果B組3位で、3—6位決定戦)

【3—6位決定リーグ】 (8月21日、22日奈
良女子大附高)

兵庫 0—2 京都

兵庫 3—0 和歌山

(この結果5位となり、本大会へ出場できな
くなった)

〈成人の部〉

▶代表決定戦 (8月21日、奈良教育大)

兵庫 1—0 滋賀

前半立ち上がりから力の差があるにもか
かわらず、積極的にDFの背後をつくことがで
きず、もたもとした攻撃に終始した。その
ため滋賀にペースをつかまれ、苦しい戦い
になった。後半15分すぎ、相手ゴール前で岸井
一夫とつなぎようやく1点が入った。この
後も追加点がとれず、相手の攻撃をなんとか
おさえ1—0で逃げきった。MFの仕事の
しなさに問題がある試合であった。(岡本隆英)

第4回全国教員大会結果

▶1回戦 (8月11日、野洲川運動公園)

兵庫教員 3—0 鳥取教員

▶2回戦 (8月12日、野洲川運動公園)

兵庫教員 1—0 愛知教員



マークム33
標準小売価格 ¥7,900

明日の栄光を勝ちとれ!

markam®

サッカーの基本プレーを徹底的に
追求し、機能性を第一に考えた
サッカーシューズ「マークムシリーズ」

80年代をリードする
サッカーウェア

younger®

MONTBLANC リアル・スポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡